行動開始僅か一日 蔣直系軍二個師殲滅

【漢口十二日同盟】わが軍は去る六日晉家河附近における第七十九軍二ケ師を完膚なきまでに殲滅したが、これと時を同じうして新河市、西齋、騰路舖附近にわが部隊により再び出擊して來た敵第七十四軍王耀武麾下の第五十一、五十八の二ケ師を巧に捕捉し近く壊滅的なる殲滅戰が展開された、すなはち六日午前一時東方より行動を開始したわが○○部隊は新鋭部隊をもつて一舉漁洋洲（安江東南二キロ）の前面に進出敵を奇襲暗夜壯烈なる殲滅戰が展開されたが新鋭○○部隊はこれに猛烈なる銃砲擊を浴びせ同五時五十分これを擊破、騰路舖を占領、潰走する敵五十一師の主力を漸次新河市（公安西北四十キロ）西齋附近に壓迫、後方より進出した敵集團第五十八師を○○部隊と相呼應して巧妙に捕捉包圍し翌七日早朝より巴山山系陣地にわが荒鷲部隊協力のもとに一大殲滅戰を展開、同午前十時行動開始以來僅か一日半の短時間をもつて蔣直系軍二ケ師を完全殲滅した、同地附近は今次江南作戰において敵第十集團軍が殲滅された戰場であり今回再び第七十四軍主力がわが○○部隊によつて覆滅されたのである

高度國防の萬全 半島獨特の緑地帶指定

十二日午前九時から總督府第一會議室に第六回朝鮮總督府市街地計畫委員會を開催、既成市街地計畫に新な高度國防、國土利用、都市集中の弊害防止等の見地から朝鮮獨特の緑地地域を指定して清新なる再出發、一大事務局案を諮問、答申し正午すぎ閉會した

半島國土計畫設定の見地から都市計畫の樹立について檢討を加へつつあつた總督府は戰時下に過大都市分散になる弊害防止、國土防衞、國土の合理利用開發等新な決戰情勢に對應しかつ理想的國土計畫の角度から新に京仁（素砂地區）仁川、水原、釜山、宣川、三千浦、統營、平壤、定州、宣川、江界、會寧の都市に市街地計畫を決定指定するとともに保留（降仙地區）城津の市街地計畫を變更、追加、指定、多獅島（龍岩浦地區）にも公園、緑地地域設定を指定することとなり、十二日第六回朝鮮總督府市街地計畫委員會を午前九時から總督府に開催した、その内容は内地に先行し半島では昭和十五年末市街地計畫令を改正、緑地地域制を定めたが、これを今回初めて適用、全鮮的に緑地々域、風致地區、公園の綜合緑地計畫を設定するにある、こゝに半島の都市計畫が綜合的所謂高度國防計畫の觀點に立ち防空ならびに都市の過大防止と過密疎開を決定したことは劃期的施策として重視される、なほ委員會附議事項は次の通り

附議事項

一、京仁市街地計畫（素砂地區）區域變更、街路、公園決定並に緑地地域、風致地區指定に關する件
二、仁川市街地計畫區域及街路變更、公園決定並に緑地地域、風致地區指定に關する件
三、水原市街地計畫區域、街路、土地區劃整理地區決定並に緑地地域、風致地區指定に關する件
四、釜山市街地計畫公園決定並に緑地地域、風致地區指定に關する件
五、三千浦市街地計畫區域、街路、土地區劃整理地區決定並に緑地地域指定に關する件
六、統營市街地計畫區域、街路、土地區劃整理地區、公園決定並に緑地地域指定に關する件
七、平壤市街地計畫公園決定並に緑地地域、風致地區指定に關する件
八、保留市街地計畫（降仙地區）街路決定並に緑地地域追加指定に關する件
九、定州市街地計畫區域、街路、土地區劃整理地區決定並に緑地地域指定に關する件
十、宣川市街地計畫區域、街路、土地區劃整理地區決定並に緑地地域指定に關する件
十一、江界市街地計畫區域、街路土地區劃整理地區決定並に緑地地域指定に關する件
十二、多獅島市街地計畫（龍岩浦地區）公園決定並に緑地地域指定に關する件
十三、城津市街地計畫街路變更並に追加、土地區劃整理地區追加公園決定並に緑地地域、風致地區指定に關する件
十四、會寧市街地計畫區域、街路土地區劃整理地區決定並に緑地地域指定に關する件

同委員會において新貝司政局長は次の如く演述したが、緑地々域の設定は單に從來あつた農耕地、林野の状態をそのまゝ持續せしめ都市發展を合理的に計畫化し緑地帶として殘すものであること、風致地區も指定して保護するの消極性作らに立つことを明かにした、局長演述の次の通り

新貝局長演述

今回決定せんとする計畫中緑地地區、風致地區、公園は綜合緑地計畫として戰時下防空問題を第一の對象と爲し地方都市の過大防止と其の過密疎開を圖り且厚生運動に資せんとする一石數鳥の所謂高度國防計畫上の觀點より計畫せられたのである、就中緑地地域に付ては内地の都市計畫に其の例を見ない朝鮮獨特の制度で都市に於ける緑地の保存育成は市民の保健衞生上或は防火、防空其の他災害防止上は勿論、更に國土の

利用開發計畫上 生產緑地の保持又は過大都市の弊害防止上不可缺の緊急事業であるので内地に先行し昭和十五年末法令改正の際新に緑地地域制を定めたもので今回初めて鮮內全般に之を及ぼさんとするのであり洵に劃期的な試みである

從來の都市發展の状況を見るに戰時防衞と云ふ點に付ては遺憾乍ら没却せられ單に人口の增大を以て都市の繁榮として參つたのであつて市街の膨脹に從ひ地價は昂騰し寸土と雖も空地は悉く建築敷地に充當せられ斯くて密集状態に至るを常として居るのである、然し乍ら

近代航空機の 發達に伴ひ戰時に於る都市の空襲は絶對不可避に成り都市の態形を防空上安全なる構成と爲すことは市街地計畫として不可缺の要件と成つたのである

この目的の爲には都市の周邊に緑地を確保せしめ市街の無制限的發展を防止する必要があり又市內に空地を保有し或は緑地帶を配して有事に際し避難所たらしむると共に極力建築物の疎開を圖り以て爆擊に依る危險を輕減し一面防火地帶に資することを要するのである

緑地地域は防空上必要なるのみならず農耕生產地として食糧の自給を助成し更には市民の保健衞生上に資し効果大なるものがあるのである

緑地々域決定の目的は保健、防空上の見地より市街の過大防止とその過密状態の緩和を圖るにあり緑地々域內に於ては保健防空等のため必要なる施設の用途に供する建築物及び緑地々域の効用を害する虞なき用途に供する建築物に非ざれば建築することを得ないことになり即ち農業、林業、牧畜業、

水產業その他 原始產業に關する用途に供するもの或は軍事上の用途に供するもの又は常設學校、病院、刑務所、火葬場、飛行場、發電所、無線電信所は建築を許さるゝが一般住宅、工場等は建築を禁止せらるゝ

緑地地域は先に申した如く其の土地に付甚しく私權を制限致したが土地所有者に對し補償を爲さないので從來の自由主義的觀念に依るときは苛酷の感なしとしないのであるが從來よりの農耕地又は林野の状態を其の儘持續せしめ都市として開發せらるることの

期待價値を生 ぜしめないものに過ぎないから都市保健、防空と云ふ國家的立場より考慮し個人の利害を超越し斯る制限を受忍せしむることは已むを得ないことと思ふ

次に風致地區であるが都市人口の集中に從ひ郊外へ膨脹し其結果山林を濫伐して荒廢に歸せしめ農耕地も次第に宅地と化し古蹟、名勝、景勝地の如きも容赦なく毀傷せられ家屋は密集するので斯くの如き状態を放置するときは單に都市の風致を害するのみならず市民の衞生、保健上或は環境の自然美に依る情操涵養上は申すまでもなく殊に山林の荒廢は豪雨に依る山崩の如き不慮の災害を誘致する危險あり又防空上の見地からも誠に憂慮に耐へないので斯る弊害を阻止する爲風致地區を指定し林野の保護並に開發の指導、風致の維持、保存、助成の途を講ずると共に一面

朝鮮に於ける 特異性に鑑みて都市の癌とも稱すべき土幕民の取締を爲さんとするのである、從て本地區內に於ては上述の目的を阻害し風致維持に惡影響を及ぼす虞ある行爲は禁止又は制限することになるのである、而して既に京城のみであるが樞要の都市より漸次指定する方針である

次に公園は御承知の如く市民の厚生、慰樂施設であるが戰時下に於ては其の性格を更め防空、防火上の施設ともなるので

市街地計畫上 緊要なるものであることは敢へて説明の要もないと思ふ、市街地計畫には單に計畫を決定し法的制限を加ふるのみを以て其の目的を達成するものと事業化するに非ざれば目的を達し得ないものと二通があるが緑地地域、風致地區は前者に屬するものであり計畫の決定に依り生ずる各般の制限、強制に依つて計畫の目的を達するのであり從て取締の適否は目的達成の成否を決するのであつて取締十全ならざるときは折角の計畫も畫餅に歸せしむる虞があるので之が取締に付遺憾なきを期することが特に肝要である

なほ公園の實施に付ては事業執行に於いて緩急先後の序を測り漸次完成に努むる樣致したいのである、以上が提案の概要であるが計畫の詳細については御質問に對し幹事より具體的に御答へすることとする

軍援顧問に池田氏 副會長には結城氏

【東京電話】朝鮮軍人援護會總裁朝香宮殿下には今回樞密顧問官池田成彬氏を同會顧問に日銀總裁結城豐太郎氏を同會副會長にそれぞれ御委囑あそばされた旨十二日厚生省より發表された、右により同會顧問は九名となり、副會長は貴族院議員土方久徵氏の逝去により一名の缺員となつてゐたが、今回の補充で四名となつた

首相施政方針演説 十四日の閣議で決定

【東京電話】臨時議會開會を目睫の間に控へて政府、翼政會ともに議會準備を急ぎつゝあり、企業整備資金措置法案など八件の政府提出法律案が十一日閣議で全部決定を見たほか豫算案については目下大藏省と關係各省間に折衝中であるが一兩日中に成案を得る見込であるので、政府は十四日午前十時首相官邸で閣議を開會、議會提出豫算案を一括上程、閣議決定とすることとなつた、しかして同日の閣議においては東條首相の施政方針演説も本極まりとなるものと見られ、さらに本議會の中心問題である企業整備實施の金融措置に關しても政府の最後的態度が決定されるものと見られる、今回の企業整備はその對象が極めて廣汎であり、かつその性格は積極性を帶び、國民生活に對しても密接な關係を有するため、その實施に伴ふ金融措置は極めて注目されるが、政府においては特殊貸上金制度による債務證書の交付など特殊金融措置を實施することゝしてをり、かゝる特殊措置を取るべき對象の範圍を明確化し惡性インフレ防止のため遺憾なき措置を講ずべく、これらの問題についても十四日の臨時閣議において萬全の措置を決定するものと見られる

議會運營の成案

【東京電話】第八十二臨時議會の重大使命に即應して翼政會ではその運營につき過般來衆議院部を中心に種々考究構想を練つてゐたが左のごとき成案に達したので總務會の承認を得て十四日の代議士會席上、これに伴ふ總裁の人事指名とともに發表することとなつた、しかして今次の議會總務は衆議院出身の本部總務をもつてし、議會理事は衆議院部理事と各部理事の中から選拔することゝし官民協力のもとに戰時議會運營の萬全を期することゝなつた、議會運營機構は左の通りとする

一、代議士會は小泉會長、橋本、松田、横川の三副會長の常時機構通りとする
一、議案審査會を設け政調の衆議院側陣容をもつてこれに充てる
一、議會運營に關しては議會總務同理事、議案審査會正副會長、理事若干名、代議士會正副會長をもつて議會役員會を組織する
一、議會役員中の總務理事を議事係、委員係、庶務連絡係の三部に分けて分擔する

商工業者起つ

山本元帥の壯烈なる戰死を想起せしめ、山本元帥の心を心とし擊ちてし止まむの決意を昂揚しその職域に邁進するため咸興商工會議所では府內五百餘名の商工業者を總動員米英擊滅の航空機を第一線に送るべく決議し、目下その醵出額各組合への割當に就いて慎重な研究を行つてゐる

朝鮮證取所令 審議終了 半島の特殊事情を加味

【東京電話】朝鮮證券取引所令に關しては先般來財務局沈理財課長が上京關係方面と折衝中のところ十一日法制局の審議が終り近く閣議に附議決定することゝなつた、同取引所令は內地に於ける證券取引所の劃期的改革に即應するものでこれに朝鮮の特殊事情を加味し全文百十三條より成り同令に基く朝鮮證券取引所設置の暁は鮮內證券取引市場の一大刷新が實現されることとなる、而して同令の施行細則は沈課長歸任の後立案の豫定で公布施行期日は未定である、なほ昭和六年制定の朝鮮取引所令は廢止さるゝ筈

戰時下半島の重責 愈々奮起の秋來る

本堂情報課長談

五月廿七日情報局に於て開催した內外地情報連絡會議に出席、十日歸任した本府本堂情報課長は、十二日次の如き談話を發表した

今回の東上は情報局に於ける內外地情報連絡會議のためで、情報局では先般總裁、次長、第一部長が新任し、これら最高幹部の方々に朝鮮の情報課長として挨拶して來た、會議は武藤第一部長司會のもとに情報局關係課長、朝鮮、台灣の情報課長、內務省關係官出席現時局に即した當面の輿論指導方針について協議打合せを遂げ、この重大時期に更に一段と啓發宣傳に邁進することとなつた

なほ席上情報局側要望に基き私より鮮內食糧事情及びこれに基く民心の動向並に朝鮮の一般事情につき説明、內地各方面に於ける朝鮮認識及び朝鮮に對する關心は大分出來つゝあるやうに見られるがまだ十分でない樣に思はれる、この機會に內地に對する朝鮮事情の紹介、宣傳については更に一段と力を注ぐ必要ありと感じた

內地では山本元帥の戰死、アツツ島に於ける皇軍の玉碎の報に接し國民一同痛憤、膽を決して仇敵擊滅の意氣に燃え、生產戰力の增強と戰時國民生活の實踐に必死の努力を續けつゝあるやう見受けられた、朝鮮に於いても全勤勞人の總蹶起運動あり、この點同樣であると思ふが、二千五百萬今こそ蹶起の時だと思ふ、またかかる重大時期に直接情報、啓發、宣傳にたづさわる私共の任務いよいよ重いことを痛感してゐる次第である

本社寄託獻金

＝十二日扱＝

國防獻金

【陸軍】▲百圓京城東公立中學校職員生徒一同代表森田安次郎
【海軍】▲百圓京城東公立中學校職員生徒一同代表森田安次郎▲五圓京城靈洞公立國民學校第一學年金山永子

恤兵金

【海軍】▲十圓京城府東大門京畿々氣課金井鉉一

小計【國防獻金】二百五圓【恤兵金】十圓、累計【國防獻金】十九萬八千五百三圓五十七錢【恤兵金】二十四萬五百六十六圓八十五錢

總計百十四萬九千七十圓四十二錢

隨想錄

戰ふ日本にとりておよそ"兵器"でないものはないが、紙もまた最も重要なる兵器であることに就ては、知らぬ者がないと思ふ▲內地では、彈丸として紙を極度に尊重しながらも、なほ單行本、雜誌が多いと云はれる、これらを制限して教科書を不足させるなどいふ聲がある▲半島ではこれと事情を異にして、雜誌、單行本をもつと多くし、彈丸としての紙の威力を發揮せしめねばならぬ。それを考へるとき、半島に紙の原料としての"木"が豐富でないのは心細い▲義務教育制が愈々實施されると、文字を解するものが多くなるから、それらのために繪本から幼年向、少年少女向、中等學生向といふ風に、雜誌や單行本が必要だ▲これは、內地のものを持つて來ても、一應間に合ふが、半島統理の特殊性格を考へるとき、繪本にもその理想なり指導精神なりが加へられねばならない▲殊に、思想がきまりかける國民學校の上級、中等學生達のために指導と娛樂とを兼ねた讀物を缺してはならない。教科書を補ひ、教科書に歩調を合せた雜誌、單行本がいくらあつても足らぬ理由はそこにある▲總力聯盟などで、標語を盛んに貼らせるのも、同じ意味で大切なことだが、なほ研究の餘地あるものだこれを控へて、一枚の紙をも惜み、新しく國語を解し、國語によつて育てられる者に、立派な物を與へたい▲內地の廿年前、四十年前を考へてみると半島に、いかにいゝ讀物が必要であるかがわかると思ふ。今から紙を大切にしても遲くない。これを貯へて集中射擊的に役立てようではないか。

朝鮮農報青年隊現地報告【二】

出征勇士の野良着 身に纏って田野に汗する忠北班

【槐山郡下臣村にて木村特派員】六月だといふのに遙か彼方の白雲連峰には白雪の積つてゐるのが望見される、下臣村は槐山市から京城に通ずる陸路の要衝大野口まで一時間半の行程を要する地點にある農家聚落村で、村役場の前には模範村記念碑が説明する

侍從御差 遣の記念碑が建てられてゐる、この村は四面山に囲まれた大野盆地の中央部に位し村內には指定村社及び村社計十四の神社が建立されて敬神思想の深さをみせてゐる、此處に配屬された忠北班隊員は今更ながら內地に住む人々の

敬神崇祖 の念の厚さを知り入村當初から感心させられたのである

◇

村の平和を維持するためには一人一役を原則として他村のやうに村長が村農會長を兼ねたり、產業組合長を兼務することを絶對に避けて現村長石田治郎兵衞氏は昨年六月現農會長正津誠兵衞氏と交替して互に協同歩調をとつて村の生產力增強に努力してゐる、自慢を申すやうですが此の村には農村としての施設で無いものはありません、唯一つこの村からは

縣會議員 を出してゐません、生產力を增強するには政治に容喙するより、その間に一粒の米でも餘計に作つた方が御國のためだと思ひ、縣會へ人を送ることは避けた方がよいと思つてゐます…といふだけあつて稻作を主とする七百六十餘町の耕地を有して徹底した有畜農業を營んでゐる、銃後の

重大義務 である納税と貯蓄にもはやくから指導者階級の留意するところとなり納税貯蓄組合を作つて村民に一人の滯納者なく貯蓄高も九百五十九戸の一戸當が二千六十四圓となつてゐる、增產獎勵策は種々の方法を講じて多收穫を心がけてゐるが增收には害虫除去も大切だと國民學校、青年學校生徒の仕事として毎年五月末から蝗の驅除採集をやらせてゐる

多收穫の最高は昭和十五年反當玄米五石五斗二升六合七勺といふ記錄があり、稻作

部落競技 會は昭和十年から又十五年からは重要農產物記錄獲得競技會を開催して米、麥、麻、大根等十種の重要農產物の增產部落競技を行ひ共同精神の涵養に努めてゐる

この村へ配置された

忠北班員 はこれ等村民の增產布陣を目の邊りに見せつけられて彌が上にも意氣が揚つてゐるが特に隊員を感激させた生きた事例があつた、それは班長

宮村寛二 氏（忠北道參事官補）の夫人が永らく病床にあつたが、同氏が隊員と共に五月廿三日槐山驛に降立つた時、先づ驛で驛員から渡されたものは

夫人の訃 報だつた、宮村班長は『逝く覺悟はしてゐました』と後始末を宜しくと電報を發したまゝで下臣村へ入村して

隊員督勵 に努力してゐる、このことが隊員に生きた教訓となり我々も戰爭に來たつもりで一生懸命やらう、宮村先生に濟まんと非常な感激振となつてゐる、役場は村端にあるので班長の隊員監督も却々の勞働で、然もこの村の人は穢れたものを着せてはならぬとの思ひ遣りから全部例外なく支給の作業衣をきせず自家の

野良衣を 出して『これは出征してゐる伜のものだ』と説明してきせてゐるので遠方からではどれが隊員か判別することが困難になり、最近では隊員が班長を見付けたら手を擧げて合圖することにしてゐる

宮村班長の案內で下中野部落の作業ぶりを見ようと雨の中を歩いてゐると直ちに『先生』といひながら手を擧げる者に出會つた、沃川郡郡北面出身の

菊池喜榮 君が苗代の跡作りをしてゐるところだつた—朝早いから辛いだらう—いゝえ辛いと思ひません、尤も初めは少し疲れましたがあの通り

七十七に なる家のお婆さんが苗取りをしてゐるのを見たら、そんなことを言つたら罰があたりますと腰の曲つた老婆を顧みて本音を吐き內地婦人の勤勞ぶりを賞讃するのであつた

部落を一巡りする間に脇本與兵衞さん方に配置された前田在哲君（清州郡君城面）松田治郎左衞門氏方の新井炳浩君に出會ひ、早速二人を前に置いて脇本さんの忌憚のない感想を聽いて見た

本人を前にして濟まんことですが、私は初め村役場から話があつた時尻込みしたのです、然し是非にといふので引受けて五月廿四日學校へ引取りに行き、家へ來る前田といふ人はどんな青年かと胸に縫ひつけた名札を見たら判つたので、君が前田君かと聞いたら

軍隊式に 不動の姿勢になつて、ハイ左樣で御座います、宜しくお願ひ致しますと言つたので、初めからこれは確かなもんだ、半島の人でもこんな禮儀正しいものがあるのかと一遍に信用し、その後は却つてこちらが教へられることばかりです、研究心も強いし、馬耕はやつたことがないさうだが是非覺えたいと申しますから、私も歸るまでには一人前に馬が使へるやうに教へませうと話し合つてゐるのです

菅笠と蓑 をつけて二人で仲よく親子のやうに耕地へ向つて行つた

【寫眞＝岡村忠北班長と菊池隊員、後方に居るのは七十七歳の老婆で苗取りをする[illegible]家の老婆】

大和塾にて

古谷綱武

新義州から始まつて全鮮の仕事になりつつある長崎祐三氏のお仕事の息吹に接して、私は深くこゝろを打たれた。大和塾の尖鋭な人物たちを指導者として、國語の教師となし、孤兒を育てさせ、乞食に縄なひを教へさせた。さうしたことによつて起つてきた變化は、さうした人物たちに非常に迫力ができてきたことださうである。

長崎氏の貴いお仕事から私の教へられたことは、生活を失つた人間を生活を失つたまゝにしておいたならば、人間は閉ざされたなかで無氣力になつてしまふより外にはいきる道がないといふことである。生活を失つた人間に生活を與へる。それこそが、實際的に人間を高め淨める、まづ根柢になるものだと思つた。生き甲斐といふものを、抽象的な形で與へるのではなしに、具體的な形で與へる。言葉でこゝろをきたへるのではなしに、仕事をもたせることで、仕事自身にこゝろをきたへさせる。私は、さうした形のなかにこそ抽象論といふものが、實際的には、なかなかもち得ない『たしかさ』といふものを感じさせられた。書いてみれば『たしかさ』といふひとことになつてしまふが、この『たしかさ』といふものは、今日ずゐぶんあらゆる方面であいまいにされてゐる。しかもあいまいにされてゐるといふことこそ、當人が氣がついてゐない場合さへすくなくない。

生活を與へるといふことは、自分自身に責任を、もつとも、たしかな形でもたねばならぬ位置に、ひとをおくことだ。一文を求められたまゝに、長崎氏への感謝をあとさき述べた。私はこの愛國運動の發展を、こころから祈る。

（筆者は日本文學報國會評論隨筆部會幹事）

不連續線

自家用

過日の『飛翔力』といふ一文に對して、猶々として投書あり『雀の飛翔力が一分間五百五十メートルであれば、時速にして三十三キロにしかならない。そんな飛行機なら防空も他愛ないものだが』といふ意味の抗議である。

但し、私に落度がなかつたとは思つてゐない。即ち『自家用の』といふ四字を插入して『しかし、雀程度でもよいから、一分間五百メートルを飛ぶ自家用の飛行機がほしいとは思ふ』とすれば、私の氣持は通じた筈である。

各部會の幹事 文報から委囑

朝鮮文人報國會では結成以來專ら會員整備中のところ一應その陣容も整つて來たので、既に決定發表された各部會の部會長、幹事長のほかに相談役、評議員、幹事等につき人選を終り、最近それぞれ委囑したが幹事の氏名は次の通りである

◇小説戲曲部會【幹事】李無影、兒玉金吾、鄭人澤、中川賢、汐入雄作、鄭飛石
◇評論隨筆部會【幹事】洪曉民、前川勘夫、[illegible]
◇詩部會【幹事】金村龍濟、金鍾漢、則武三雄、趙宇植、尹[illegible]、林學洙
◇短歌部會【幹事】[illegible]、道田賀、今府勇、下脇光夫
◇俳句部會【幹事】井上冬雨、沼淡水、安田溪雨、山下逝子、藤野夏江、白木蝉蒲
◇川柳部會【幹事】柴田青芳、久保花門、森田若人、奥井啓一朗、久留米雪城、池田可宵、矢谷詩腕郎

京日歌壇

吉井勇選

京城　松本やよひ
警報の鳴りわたりたる雨の夜心落着けモンペをはく

同
滿洲の北のはてにも春來ぬと君のたよりぞはるばると來し

平壤　川村彌波
休憩の合間あひまに野菜等の伸びを樂しむ工員我は

京城　國部透
警戒警報解除となりて幾日ぶり窓の薔薇の匂ひに眠る

同　大數比露子
逆ひてご怒りもやらず笑み給ふ夫の大いなる心に觸るる

文化だより

◇淺倉房吉氏（京城劇場支配人）十二日"あかつき"で着任
◇李軒求氏（評論家）京城南大門通一丁目に向英園をはじめて鍾路畫廊、鍾路花房を經營
◇朝鮮樂劇團　十三日（日）午後三時五十五分京城驛着"あかつき"で歸城

申不出の漫談

昨夏三ケ月間に亘り時局漫談で笑ひの內に全鮮愛國班員に感銘を與へた申不出氏が今年も同樣の方法で時局漫談會を各地で催す、今回は特に朝鮮思想國防協會、京畿道理財課、國民總力聯盟の後援で朝鮮海軍特別志願兵制度實施の趣旨や貯蓄に關する題材が選ばれてゐる

登記公告

[illegible]

公示催告

[illegible]

船材供出に必死
木曾森林の増産視察記

【木曾福島にて特派員記】『船は山から造り出す』といふと逆説めくが、實際、戰時海上輸送力増強に大きな役割を擔つて、洋上遠く盛んに活躍してゐる木造船の、そもそもの生れ故郷は、北海道、東北信飛越、さらには紀伊や四國の奥深い山谷であり、その前身は亭々と聳えて雲霧に隱いた檜であり、樅であり、或は杉、栂樅である、とめどない太平洋の潮騒は、ただちに颯々たる山風に通ひ、全國到る所の山林には、今まさに森林増伐、木材供出の敢鬪がくりひろげられてゐる、その雄々しい組織の一端を、信州木曾谷一帶の御料林にみる

大東亞戰特別伐採

車窓から仰ぐ御嶽も駒ケ嶽もまだかなりの雪をギラつかせてゐるが、低い前山は滴れるやうな新緑、若葉が繁り、藤の花房がゆれ、小梨の花が匂ひ、谷あひのさゝやかな平地には、早い苗代田が手入れされ、その間を長閑な木曾川がゆるく、時には激しく蛇行する、といふのが、平戰兩時を通じて旅行者の旅する風景で、その點少しの變りもないけれど、やゝ注意深い眼なら、沿線の驛道各驛に積上げられた木材の、その量の夥だしくなつてゐるのにすぐ氣づくだらう

木曾御料林は昨今その全域に亘つて『大東亞戰特別伐採』が進行してゐる、この特伐は今年度から昭和廿年度までの三ケ年、毎年〇〇萬石の増伐を行ふ、換言すればこの地域の平年出材量にさらに〇〇％を加へようといふのである、人員も〇〇割増、今まで平均〇〇名だつた作業員数に〇〇名を加へ、その上冬六箇の追加割當を行はうといふのがはじめの計畫だつた、だが勞力の方はなかなか紙上案どほりに運ばない、結局落着くところは作業強化である、普通は一月に伐入りと云つて造材にとりかゝり、その豫定材積の伐採を七、八月の候に終へ、その間一方では四五月から運材を始め、十二月には出し終へたものだが〇〇割増伐とあつてはそれでは間に合はない、前年度中に伐つておいて、秋田、青森等の積雪地方から雪擧人夫を動員、雪の深い一月早々もう運材にかゝつてゐる

我等は増産敵は降參

營林局木曾支局の繩張りを地圖の上で彩ると、木曾山脈の全部、飛驒山脈の過半、赤石山系の一部、つまり日本アルプスと呼ばれた中部高嶺山塊のめぼしい所は殆ど一色に塗り潰されてしまふ、その地域の要所々々に支局出張所が置かれ、出張所の指揮下に作業すべき箇所の山腹渓間に事業場が設けられる、この事業がいはゞ前線の戰鬪司令所、毎月の伐採確保數量、月別輸送材積があらかじめ決定してゐるから、それを作業員個々の勞働能力に睨み合せて、それぞれの作業地點、分擔を割當て、これだけは是が非でも出す、出さうと現場を闘示し、頑張らせる

『我等は増産、敵は降參』──あつてあつた、バラツク建の事務室に附屬の一二室、別棟の作業員宿舍、場所はといへば個の部落から早くて急登一時間、驚めけばもう森林軌道で山深く半日以上も揺られなければ辿りつけない、さういふ人知れぬ僻地にも戰時増産の汗が滴つてゐる、然も取組む相手は、伐り出したそれが一本もあれば、普通の住居なら一軒充分に建たうといふ程の重量のある巨木だ、一名一日の責任材積は十石から十二石位、時をり能率増強週間を試みたりするが、さういふ際は、規定では六時の作業開始を早めて朝まだ暗い四時半に宿舍の前で全員國民儀禮、五時にはもう仕事にかゝつて夕、といふより夜八時まで、一日十四五時間勞働といふ激しさである

氣合で取組巨材

戰力増強に燃える意氣を寄せられて、畏き邊りより下賜された木造船の『御社用材』は木曾では、まだ雪深い去る三月下旬、信州側と飛驒側の一個所で伐り出された、このことはどれだけ作業現場の士氣を鼓舞したか計り知れなかつた、海までまつたく縁のない山國に、たゞ一途に『船を造れ』の氣魄が漲つてゐる

纖維の半ば以上は、かくて、はじめから船材としての條件を課せられ、從つてこれまで出材してゐたものよりも遙かに寸法が大きく、重量も多い、それを個人の力で鳶口一本で扱くのである、馴れとは云ひながら、一歩誤つて下敷にでもされようものなら、煎餅のやうに壓し潰されてしまひさうな大物が、自由自在、ごろんごろんと轉がされ、斜面を滑り下り、受け止められ、また引ツ掛けて森林軌道の臺車に積み込まれる、その動作を律するコツは、既に立派な氣合である

氣合といへば、かうした出材作業に從つてゐる者には、十七、八歳の少年が多い、なまじつか年をとつた相や人夫よりも、この年頃の連中の方がずつと能率があがるといふ氣合のかゝる年齡である、君たちの出す木材が船になり、軍隊や兵器、糧食を運び、敵殲滅の原動力をなすのだといふ簡單な、それだけ純粹な説明一つで『よし、やれツ』と氣負ひ立つてゐる

全山總力戰の展開

木曾の林業は御料時代以來の傳統と秩序に則つて、その作業の組織順序方法などはかなり喧ましいものがあつた、然し今は、修羅、棧手、小谷狩、大川狩といつた昔の出材方法は廢せられ、すべて機械集材であり、伐り倒したものをボサ拔きといつて枝條を拂ひ、一定の場所へ運材し、次いで空中に架したケーブルに引ツ掛けて谷を渡し、森林鐵道が狹い所ならトロに積み、宿營の驛の構内線に乘り入れるといふ手順である、木曾川の流材は今は行はれず、その筏師を唄つた『中乘りさん』は盆踊りにのみ名を殘してゐる、だからと云つて人手が省けた譯ではない、むしろ前記のやうに勞働力はますます要求される、部分的には修羅や棧手を組み、軌道の入らない地域は木馬道を築かね[illegible]

[illegible]一方では、ケーブル[illegible]資材は鐵である[illegible]を受ける、機械集[illegible]たら、木曾全山[illegible]せてでも伐り出し[illegible]意氣込みは凄まじ[illegible]事務所の青少年[illegible]る傳票や記帳の[illegible]でも空中架線の[illegible]し、トロの把手[illegible]用機關車のレバ[illegible]林野局の職員が[illegible]て三班に分れ[illegible]檜の枝條から[illegible]ガソリンの代用[illegible]てゐる、農耕[illegible]の生産が乏しい[illegible]には笹の纖維[illegible]業場では、竹の[illegible]て宿舍の敷物[illegible]る、まだ支那[illegible]ずつと前から[illegible]車は、伐木の枝や木屑を活用した薪で走つてゐるのだ、増産は[illegible]に必需の酒は林野支局で苦心算定[illegible]

穀倉の豊穣を祈る
總督らを迎へ朝鮮農會が田植行事

[illegible]

第十六回農業記念日

[illegible]

千葉縣を御巡歴 久邇宮朝融王妃殿下

[illegible]

嚴かな御田植祭 きのふ神宮御田で擧行

[illegible]祭の後は進められ、同四時頃終了した【寫眞＝朝鮮神宮御田植祭】

有線放送試驗 十二日から開始

戰下、非常時ラジオの使命達成のため、遞信局では有線放送實施を樹て、工事を急いでゐたが、このほど完了、機器調整のためすでに試驗放送を開始した、その放送時間は左の放送によつて毎晩六時から十時まで、番組は内地からのものを中繼放送するが、從つて次の朝鮮語の放送時間にも國語の放送がきかれるわけである、遞信局ではすでに試驗用受信機をとりつけたところでは是非試聽するやう希望してゐる、放送日は

▲火曜、木曜、土曜六時半より七時迄（お話又は演藝、地方より）
▲毎日九時より十時迄報道及演藝

である

城大文化講演 十九日府民館で

城大文學會は同法文學部、文科方面の教官、學生、卒業生を打つて一丸とする學術の研究に、これの普及發展をめざす團體として半島文化向上のため盡瘁してきたが、その事業の一つとして綜季公開講演會を十九日午後七時半から京城府民館大講堂で開く、演題と講師は次の通り（聽講無料）▲〃我國の特格〃社會學專攻助教授鈴木榮太郎▲〃歷史と國土〃東洋史專攻、助教授松田壽男

ビルマ訪日視察團入京

【東京電話】ビルマ訪日視察團一行廿五名は十二日午前九時廿一分東京驛着、晴れの入京をした、驛頭には水野大東亞省南方事務局長、日緬協會常務理事後藤亮氏らの出迎へを受け直ちに宮城前に至り敬虔なる奉拜を行つたのち、宿舍第一ホテルに入つた、午後は明治神宮、靖國神社に參拜、入京第一日の日程を終り、十三日は首相官邸はじめ陸、海、大東亞、内務各省などへ來朝の挨拶を行ふ豫定である

一枚の寄留屆だ怠るな
寄留強調週間

[illegible]

徵兵制問題懇談會

【東京電話】前代議士朴春琴氏を中心とする大和倶樂部では十二日午後三時より日比谷山水樓に會員廿餘名參集、總督府東京事務所北村次長を圍んで徵兵制問題を初め、最近の半島事情について種々懇談を重ね午後五時散會した

思想戰態勢を強化 日本言報で企畫

【東京電話】敵米英の宣傳謀略が[illegible]

"豆双葉"らの熱鬪
本社主催 少國民相撲鍊成大會

十六日から蓋開けする〃京城場所〃の前奏曲である待望の本社主催少國民相撲鍊成大會は十二日午後二時、櫓太鼓の撥音こそないが、沸きる少國民の意氣も高らかに京城丁子屋屋上特設土俵に土俵開きした

先づ烈々たる鬪志を胸に秘め國民儀禮を終へてのち朝鮮體育振興會相撲國相葉龍馬氏の指導の下、愈々八日間に亘る白熱戰の火蓋を切つて落した

第一部に南大門、龍山、櫻井、鍾路、東大門、南山各國民學校、第二部に壽松、昌信、北阿峴各國民學校の各學校より四年以上學級別に五名の本選士、一名の補缺が選ばれて、四年生は三人拔、五年生は五人拔の力戰が炎天下に展開、將來の横綱をめざす一戰だけあつて、双葉山、照國に負けない意氣込みの取り手が繰りひろげられては觀衆の手に汗をにぎらせた、ヨイコドモたちのこのたのもしい力鬪の最中

三時すぎ思ひがけなくも朝鮮軍井原參謀長、倉茂報道部長がお見えになつて、一同しばらく休戰、敬禮をもつて迎へ、士氣は愈々天を衝くばかり、日やけした滿身に鬪魂を燃やしての力鬪が、さらに繰りひろげられ豆力士の四股を踏む砂をあびながら、同五時半初日取組諸の幕を下した【寫眞＝少國民相撲大會】尚第二日目の十三日は午前十時より開始する

大海軍展地方へ

國民總力聯盟主催の〃米英擊滅大海軍展〃は海軍特別志願兵制實施の感激に山本魂につゞく決意をもりあげて京城五百貨店に開催、會期を通じて觀衆五十三萬といふ大盛況を收めてさきに幕をとぢたが、聯盟では地方から沸きあがる懇望に應へて左の日程により各地で巡行する

▲咸鏡北道（吉州、茂山、朱乙）自六月十八日至八月一日▲全羅北道（全州、群山）自七月一日至七月十三日▲京畿道（仁川府）自七月廿二日至七月廿七日▲平安南道（平壤府）自六月廿一日至六月廿七日

標的も敵の顔に
一發必殺の射擊訓練

鍛ふ報道班員 4

【村岡本社特派員（朝鮮軍報道班員）記】デーン……ピユン……草に身體を埋めて半眼を閉ぢ人頭的に撃ち込む一發必中の射擊の姿である、命中させようとする野望がむらむらと肉體一杯に漲つてゐるのが判る、銃握には銃を支へる左手が石のやうに固い、ガクリと引金を引くと三百米距てた圓的の圓周にパツと土煙が舞ひ立つ、こゝには激戰の雜念もなくあるものは

必死懸命 の鬪魂である

何の恥らふ姿もなく〃發射彈五、命中彈なし、藥莢その他異狀なし〃と活潑な聲を殘して後退して來る班員は射ち終つていまもまだ興奮を鎮めやらず又銃瞭の側によつてキリキリと的を睨みつけ、繼けられる班員の射擊を見守るのである、初めて射擊した半島出身の班員の一人の姿である、起伏する不整地の實戰的射擊訓練は目標の的が自ら敵陣に蠢動する敵兵を聯想させ自らを大陸の戰野に誘ふ錯覺に陷らせ銃で突くやうな緊迫感を呼び起させるのであつた

野草の繁みの中に名も知らぬ花が咲き、郭公が鳴つてゐる、かうした牧歌的な風景の中で一人の半島出の班員はこんな對話をした

朝鮮の我々には過去皇軍のもつ家族的な

團體協同 の生活慣習をもたなかつた、我我はそこがましくも文化朝鮮の尖兵として明年から實施される徵兵制に、青年たちの出途を祝賀激勵する數多の文字を重ねて來たが、いま實際に軍隊の組織の中に身を置いて鍛成されると過去の觀念的な知識に多くの修正をほどこさねばならないものを發見した、皇軍の精華は僅かの體驗では窺知し得ないかも知れないが總て驚きの感で一杯だ

明年から聖戰の庭に立つ若者の親兄弟に言ひたいことがある、若者の親たちは壯丁を決して自分の子供だと獨占的な考へ方をしてならぬ、自分の子にあらず、皇國に捧げるため一時親たちが預かつて育てあげて來たのだ、皇國の子だちだ、今こそ何の未練もなく皇國のため立派な働きをしてくれと皇國へ返上申しあげることだ──今からこの肚を十分作つて置くことが半島の親たちの何よりの御奉公だ

皇國のために隨一する軍人精神の光る一つの魂に觸れて自分はさう感つた、軍隊の團結和樂協同と誠を知つて、半島人がともすれば個人的な感情の世界を泳いで來た缺點がよく判る、然しそればこの美しい環境の世界を知らずこの美しい慣習に觸れ得なかつたため、責任感と犧牲的精神に遠ざかつて來たのだ

皇國魂に 純化されてゆく今日、そして明日の姿に私は腕が躍る

〃發射彈五、命中彈三、藥莢その他異狀なし〃元氣な報告である、[illegible]

【寫眞＝一發必中の射擊訓練＝森川本社特派員（朝鮮軍報道班員）撮影】

育英制度創設 準備協議會初顏合せ

【東京電話】五月廿五日の閣議で決定した育英制度創設準備協議會の第一回顏合せは十一日午後四時半より文相官邸に開催、岡部會長外委員幹事も出席、岡部會長より育英制度創設に關する經過および希望意見の開陳あり續いて各委員より

一、育英制度の本質に關しあくまでわが國家族制度を尊重すべきこと
一、進學指導制度
一、育英法人の希望などに關し積極的なる意見續出し、同九時半[illegible]

文報使節渡支

【釜山電話】日本文學報國會使節として渡支する評論家小林秀雄氏は十二日朝釜山通過急行『のぞみ』で北行したが次の如く語る

昨年東京で開かれた大東亞文學者大會を機會に新生中國の文學者等と手を握り合つて以來林房雄君が渡支し二年間の豫定で直接彼等の中に入り込み日華親善に盡すべく活躍してゐるが、今度周作人氏を中心に藝文雜誌社が近く唐無の文學集刊の二種類が近日中に創刊されるのでこれを進語するため渡支する、かうした雜誌を通じ、從來日本に籍し、しつくり來なかつた文人達が漸々外に出て新東亞建設に挺身するやうになるものと思ふ

漫談で憩ふ

京畿道總力聯盟では漫談家由不出（波多信二）君の慰落勵行、國語常用、防共防諜等の必要を織込んだ漫談をもつて抱腹の内に趣旨の徹底を圖ることになつた

由君は廿餘年前東京において德川夢聲等と共に專ら新派話術研究をなし歸鮮後專ら漫談としてラジオ、レコード、實演等によりお馴染をもつてゐるが、このたびの巡回は六月中は京城各町を單位に開催、七月以降は水原を振出しに各郡單位の十七ケ所で行ふが入場には愛國班長の紹介を要する

夕刊 京城日報 (十二日發行)
皇紀二千六百三年 昭和十八年六月十三日 (日曜日)
京城日報
第三種郵便物認可　第一万二千八百一號

在支米空軍の蠢動を粉砕
敵機十三を血祭り
陸鷲、衡陽飛行場攻撃

大本營發表（六月十二日十時）帝國陸軍航空部隊は六月十日衡陽飛行場を攻撃し敵飛行機六機を撃墜七機を炎上または撃破せるほか數機に損傷を與へたり、我方の損害自爆一機なり

【上海十一日同盟】重慶來電によればわが荒鷲編隊は十日午後湖南省衡陽を急襲反撃し來つた敵機と猛烈な空中戰を演じ、多大の戰果を擧げた

【ブエノスアイレス十一日同盟】ワシントン來電＝ユーピー通信重慶電によれば、日本航空部隊は十日大編隊をもつて湖南省の衡陽を爆撃したといはれる

十五時十分衡陽上空に達するや、小癪にも敵P四〇型戰鬪機七機がわれに挑みかゝらんとするを尻目にまづ飛行機にあつた敵五機に對し、火網をもつてこれを捕捉、大型二機、小型二機を炎上すると共に、一機を破壞した、この時敵戰鬪機二十機は執拗に睨下つて來たがわが荒鷲はこれを邀撃して、二十分にわたる空中戰のへち、六機を撃墜、撃破二機、合計十三機を撃墜破するほか、數機に損傷を與へるといふ大戰果を收め、在支米空軍の蠢動を粉砕した

をして顔色なからしめる壯烈勇敢振りを發揮したもので力強い限りである、去る六日にはワシントンに赴き在支米空軍強化策について奔走した在支米空軍司令官シエンノートが空路重慶に歸着したばかりであり、連日にわたるわが陸鷲の敵空軍基地の粉砕は在支空軍再出發の出鼻を挫きシエンノートの面目を丸潰しにしたものである

【〇〇基地十一日同盟】〇〇隊長の指揮する戰爆連合の大編隊は十日快晴を利して敵の前進基地を邀撃、

本土空襲企圖封殺
シエンノート顔色なし

【東京電話】わが陸軍航空部隊は支那における米將隊空軍の反抗企圖ならびにその蠢動を撃碎するため連日ますます積極果敢な攻撃を加へその都度輝く大戰果を擧げてゐるが、一昨十日もわが陸鷲の精鋭は戰爆連合、長驅在支空軍の重要基地である湖南省衡陽飛行場の完全奇襲に成功し敵機を撃墜、七機を炎上または撃破したほか數機に大損傷を與へた旨十二日大本營より發表された、すなはち十日十五時十五分わが陸鷲は一、わが空襲に肝を抜かれ狼狽して舞上つて來た敵二十機（P四〇）と猛烈なる大空中戰を演じ忽ちにしてその六機を撃墜、二機を撃破、他の數機にも大損傷（不確實）を與へた
二、また他の一隊は地上にあつた敵の双發一機、單發一機に巨彈を浴せこれを炎上せしめたほか小型二機を爆碎した

かくの如くわが陸鷲は人機一體の大活躍を示しその敢闘精神を遺憾なく發揮した、わが陸鷲部隊の支那各地における活躍は最近極めて目覺しく去る九日の遂川飛行場爆撃をはじめ、その他梁山、恩施、昆明など敵の主要なる飛行基地を相ついで爆撃、これを徹底的に爆碎してゐるが、これは常に敵空軍の蠢動ならびにわが本土空襲企圖を未然に防遏してこれを粉碎し敵

米空軍の暴虐
北部佛印で機銃掃射

【ハノイ十二日同盟】米空軍は十一日またもや北部佛印に來襲し數箇所において銃爆撃を行ひ原住民に死傷者を生ぜしめたが、佛印當局では十二日次の如く發表した
▲佛印當局發表　在支米空軍は十一日午前北部佛印に來襲、二部落に對し機銃掃射を行ひ原住民に若干の死傷者を生ぜしめた

東條首相奏上

【東京電話】東條首相は十二日午前十一時宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ一般政務につき奏上、種々御下問に奉答のへち御前を退下した

南方建設目覺し
泰國參謀次長視察談

【バンコツク十一日同盟】濠、蘭、泰三國駐日武官のわが南方占領地視察に際しバンコツクから一行に參加、約二週間にわたりマライ初めジャワ、スマトラ各地を視察した泰國陸軍參謀次長チヨテツクサテン少將は去る八日當地に歸還したが、十一日その感想を次の如く語つた

まづ昭南に至りジヨホールはじめブキテマその他の戰跡に立つた時當時の戰鬪の激烈さと日本軍の勇敢さが目に浮ぶやうだつた、セレター軍港をはじめ市内隈なく廻つたが、その復興ぶりは最後僅か一年半とは思へぬ位で戰前より却つて活況を呈してをり日本軍占領地の中心たるの感を深くした、メダンでは進駐施設などが殆後ますます完備してゐるのに一驚させられた、パレンバンで落下傘部隊の奮戰状況を現地で説明して頂き一方精油所などの復舊も全く豫想外で戰前にも優る機能を組織的に發揮してゐるのを見てこの點においても日本の技術的優秀性に瞠目した、ジャワではジャカルタ、バンドン、スラバヤ各地を訪れたがジャワでは特に原住民の日本軍に對する信頼感の熱烈さと明朗さとを感じた、今度の旅行では日本軍は戰爭に強いのみではなく建設においても同樣の正確さと迅速さとを示し困難な建設事業を着實に進めてゐるのを見て日本軍および日本人の偉大さをますます痛感した、占領下各地の住民も戰前英米などの支配下に失ひかけてゐたわれわれ東洋人共通の美點である感謝を取戻し日本占領局の……によつて東洋人の誇りを感じつつ建設に勵んでゐる

陸鷲ドハザリ飛行場を急襲【印度】（現地航空部隊提供）（陸軍省檢閲濟）

日泰通信條約
盤谷で締結調印

【バンコツク十二日同盟】かねて泰國通信局との間に交渉中の日泰間通信協定は十二日バンコツクで調印を了し同午前十時左の日泰共同コンミユニケが發表された
大日本帝國政府は日泰間通信の改善のためかねてより泰國および日滿支間假名文字電報開始に關し、泰國政府と交渉協議中のところ、本十二日バンコツクにおいて日本遞信省外信課長および泰國交通省通信局副局長間に右取扱ひに關する日泰通信條約の署名を了せり

赤軍主力線へ楔
獨ソ制空權奪取に必死
ロストフ方面

【ストツクホルム十一日同盟】コーカサス西北の關門ロストフ保衞に焦慮する赤軍は十一日またもクルガン地區で大規模攻勢を開始、獨軍陣地正面で熾烈な白兵戰を展開したが、獨軍の猛反撃を浴びて殘兵に餘力を與へず、短時間の戰鬪ののち、算を亂して潰走、急追する獨軍のため逆に赤軍主力線に強力な楔を打込まれた樣子で、十一日深更のソ聯情報局公報も『獨軍は十一日數百台の戰車および飛行機を繰出して赤軍陣地を一時突破するに成功した』と認めてゐる

他方獨ソ兩軍の制空權爭奪戰は依然熾烈を極めソ聯をはじめ米英陣營は、夏季決戰の前提と解して頗る神經質になつてゐるが、モスコーのロイター特派員は十一日『東部戰線刻下の重點は戰略中心の空襲戰にあり、近き將來一層の激化が豫想されてゐる、獨空軍は過去八日間ゴーリキー、ボルホフ、ヤロスラバルの三大要衝を攻撃したが、ソ聯夜間爆擊機隊は戰法を變へ、專ら獨空軍飛行場に集中爆擊を加へてゐる』とソ聯空軍の立遅れを告白、獨軍評論家クルト・ピトマー大中將も十一日の夜のベルリン放送で『獨軍夏季攻勢開始の機は目睫に迫つた、東部戰線における獨軍の配備状況は今や『攻勢傾向の作戰』のため恰好の足場を提供してゐる』と述べ、戰局の動向たゞならぬことを示唆してゐる

赤軍機九十三擊墜

【ベルリン十一日同盟】獨總統大本營は東部戰線において活躍中の獨空軍ならびに高射砲隊は十日赤軍飛行機九十三機を撃墜した旨十一日發表した

ソ聯、對米英協調

【ストツクホルム十一日同盟】ソビエート政府は國際共産黨組織の解體宣言以來米英兩國に對し、積極的な協調態度を示してゐるが、過般スタンドレー大使問題の原因をなした米國の對ソ援助状況も、最近は各種報道機關を通じて努めて發表してゐる樣子だ、プラウダ紙は十一日の社説で再び米國からの援助問題を取上げ、ソ聯國民は米國から續々流れ込む武器、食糧の援助を充分承知してをり、米國民の支持を極めて高く評價してゐると感謝の念を披瀝、當日のモスコーラジオも右プラウダ紙の社説を米英國に對し繰返し放送したといはれる

商船十一隻撃沈破
獨潜水艦の新戰果發表

【ベルリン十一日同盟】獨總統大本營は獨潜水艦の新戰果について十一日次の如く發表した
獨潜水艦は嚴重に護衞された敵船團に對し、猛攻を加へ商船九隻、合計四萬三千トンを撃沈するとともに他の商船二隻に魚雷攻撃を加へた

マルタ島空襲

【リスボン十一日同盟】マルタ島英軍守備隊は十一日公報をもつて、十日夕刻樞軸戰鬪機隊の空襲を受けた旨發表したが、損害については言及しなかつた

傀儡政權紛糾
カトルーが居中調停

【リスボン十一日同盟】裏切分子のいはゆるフランス解放委員會は十日豫定の會議を開かず、さらに、十一日に至るも會議は再開されず委員會は再び全くの行詰り状態に逢着するに至つたといはれる、アルジエー會議の當初からド・ゴールはジローが同委員會の委員長とフランス叛亂軍の總司令とを兼任することに強硬に反對してゐたが、十日に至り突如ジローに對し書翰をもつて叛亂軍の改組特にビシー色濃厚な分子の罷免を要求し、右書翰において以上の要求が容れられない場合には解放委員會から脱退する意向を表明してゐると傳へられる
目下カトルーが居中調停に躍起となつてゐるが局面打開の見込みは立たない

パ島連續攻撃
伊軍再び降伏勸告を一蹴

【ローマ十一日同盟】伊軍司令部十一日發表＝
一、反樞軸空軍は十日有力なる爆撃機並に戰鬪機隊をもつて終日殆ど間斷なくパンテラリヤ島に猛攻を加へた、同島守備隊は果敢なる反撃をつゞけ十日に行はれた敵の二度目の降伏勸告をも一蹴した
一、樞軸空軍雷撃機隊はチユニジヤ海岸沖を航行中の敵護送船團を攻撃、三千トン級一隻に命中彈を與へた

増米へ誓ひも新た
勸農記念日　水原で嚴肅な行事
朝鮮農會主催

一億國戰の誓ひの下に二千八百萬石攻略をめざす半島二千五百萬民衆の増米への決戰譜は儼苗の色も鮮かにいま全鮮をあげて田植の最繁期にあるが大東亞戰下再び廻り來る六月十四日はすぐる昭和三年畏くも聖上御親ら早苗を御植樂あらせられ農業に寄せさせ給ふ大御心を至尊の御身を以て畜生に照示し給うた意義深き日である、昭和三年以來六月十四日を以て勸農記念日とし總督府に第十六回の日を重ねるが、この日全半島は呼應して一齊に農へ感謝する農村の人々へ限りない報恩感謝の誠を捧げる一方、總督府に農民の誇りをこめると共に本年も稔りなき豊穣の稔りを新たにするもので當日午前十時三十分より水原の總督府農事試驗場試作畓では原の總督府農事試驗場試作畓では水原神社宮永社掌齋主となり小磯總督臨席の下井原軍參謀長、各民報道部長並に國田局長、林局長以下本府側各局長、矢島米穀市場長、右塚米倉、稻積京電、湯村朝米、渡邊殖銀開發會國各社長、山澤東拓理事、石本商事會長、野田漢銀頭取、韓相龍、金漢奎氏等官民代表者等約二百名參列の上嚴かなる裡にも增産の氣魄一入強く田植祭の儀が履修される
式は先づ修祓、降神、獻饌に始まり、齋主祝詞奏上、林朝鮮農會副會長玉串奉奠、撤饌昇神の次第を以て進められ、次いで農會長挨拶、皇國臣民の誓詞齊誦あつて後總督小磯總督以下參列者二百名は試作畓に降り立つて約三十分に亘り正條植を行ひ同十二時頃諸行事を滞りなく終了する、なほ臨席の小磯總督は閉式後車を驅りて水原西湖に赴いて炎天下にシヤベルを揮ふ大學專門學校生による勤勞奉仕作業を親察激勵の陣頭指揮を行ふ

徹底整理は不可能
田中總監、釜山で語る

【釜山電話】臨時議會に政府委員として東上する田中政務總監は松坂秘書官を帶同十二日午前七時五十五分著列車で釜山に到著途中まで出迎への一杉慶南内務部長、松永同警察部長の案内で鐵道ホテルで朝食を摂り内地に向つたが出發間際に記者團を引見次の如く語つた

總督府の議會提出案は既に新聞に出てゐる通りだ、問題の山は米價引上げ、食糧增産に伴ふ朝鮮食糧管理特別會計法案及び企業整備に關する資金處置等であるが、その内容については未だ大藏省で査定中だしいまはつきり話すことは出來ない、企業整備の狙ひどころは從來の内地依存から脱却して出來得れば内地に寄與するといつたところまで引上げねばならぬ、しかし實施の上には朝鮮の特殊事情をも考慮する必要があり、差し當つては内地のやうに全面に亘つて徹底的に整理するといふわけには行くまい、從つて目下のところ金以外のものは維持育成して行く方法も考へてある、今回の東上は議會對策が主であるから議會終了次第還るも廿六、七日ごろまでには歸任の豫定だ

無煙炭消費も重點的に調整へ
信原事務官歸任談

【釜山電話】十八年度における鐵鋼、石炭緊急增産その他重要問題につき打合のため東上中の殖産局鑛務課信原事務官は十二日朝釜山通過『あかつき』で歸任したが車中次の如く語つた

金鑛整備に伴ふ金山整備は一先づ片づいたが、今度は砂金、ドレイジヤー等の整備について大藏、商工兩省と折衝した結果買收評價基準が纏つたので近く評價委員會を開き最後的決定をみる豫定だ、五大重點産業のトツプである鐵鋼、石炭の十八年度の緊急增産計は樹立されてゐるから、これを遂行することによつて南方、中支方面との輸送不足による入賃薄を鉅滿がカバーせねばならぬので、これが開發に寄與する鐵道引込線、山積搬出等に要する資材の優先配給について今月中には中央において確定することになつた、鐵産無煙炭は内地滿洲へも出さねばならぬし、鮮内需要としても鐵道、軍需、民需等非常に增加して來たから今後これが消費も重點的に調整する必要があらう、鉛も軍需用を確保するため緊急增産案が出來てゐるが、朝鮮は前年度生産率に比し約二割半を增産せねばならぬことになつてをりこれらに要する資材は先般來整備されつつある金鑛業遊休資材を利用することにする、先般發布された朝鮮重要鑛物增産令は開發無能力鑛主の所有する山を政府の命令または開發權設定によつて開發能力者の開發に振向けることになるから、今後朝鮮における特殊鑛物の增産は期待されるものがある

共産主義排撃
亞政府内政改革を實行

【ブエノスアイレス十一日同盟】アルゼンチン新政府は組閣後、直ちに内外政策の大綱を闡明し、九日にはさらに嚴重な國内經濟統制の實施を發表したが、これがため民心は全く安定し國内各紙も新政府に對する全幅的支持を表明してゐる
さらに新政府は政界の廓清ならびに共産主義排撃をその主要任務とし、すでにブエノスアイレス市内では多數の共産黨領袖が逮捕され、またこれと併行して腐敗せる政黨政治の打破を意圖してゐる樣子で、政府筋の情報によれば、政府と表裏一體となり政府の施策實施に協力すべき大規模な國家民黨派を結成するのではないかといはれる
もつともラミレス將軍は目下のところ新黨結成については何らの意向を表明してゐないが、既成政黨に對しては頗る冷淡な態度を持してをり、急進黨などでは政府の態度に全く失望してゐる

帝國、亞新政權承認

【ブエノスアイレス十一日同盟】アルゼンチン政府は十一日日本政府がアルゼンチン新政權を承認した旨發表した

米英、亡命政權も承認

【リスボン十一日同盟】ワシントン來電＝米國務長官ハルは十一日『米國政府はラミレス將軍を首班とするアルゼンチン新政權を承認した』旨發表した、同時にロンドン來電によれば英國政府も承認するに決定したといはれる
【ブエノスアイレス十一日同盟】アルゼンチン政府はスエーデン、ハンガリー、ドミニカ、ブルガリア、コロンビア、ボリビア、メキシコ各國ならびにポーランド、オランダ、ギリシヤ各亡命政權が相次いで新政府を承認した旨發表した

米インフレ深刻化

【ブエノスアイレス十一日同盟】ワシントン來電＝米國におけるインフレーシヨンの脅威は政府當局の對策にも拘らず益々深刻化し、米國現在の物價抑制機構は今や全面的破綻の危機に瀕してゐるが、大統領ルーズベルトは十一日の新聞記者團との會見でこの新事態に對する物價以策の建直しを示唆し次の如く語つた
政府は目下インフレ抑制の新法案を議會に送るべく準備してゐる、悪性インフレの脅威は相當深刻で當局の推測によると一般購買力と物資供給の差は百六十億ドルを超えんとしてゐる

罷業再開か
勞働組合の態度硬化

【ブエノスアイレス十一日同盟】ワシントン來電＝米國炭坑組織は勞働組合と炭坑主一部との賃銀新契約の成立により好轉するかに見えたが、殘餘の炭坑五市との交渉は暗礁に乘り上げたまゝ遂に決裂に終り、炭坑五市代表は十一日に至り、炭坑夫組合に對して、戰時勞働局の指令あるまで交渉を打切る旨正式に通達した、一方組合の態度も一段と硬化し、特に内務長官ハロルド・イツキズの處置は能率勞働者を刺戟し、炭坑夫組合長ジヨン・ルイスは十一日『かゝる措置は勞働階級に對する無慈悲な經濟制裁の適用である』との強硬聲明を發表し、炭坑罷業再開の形勢濃厚となつた

米、罷業禁止
法案可決

【ブエノスアイレス十一日同盟】ワシントン來電＝米國下院は上下兩院協議會を通過した勞働罷業禁止法案を十一日二百九十票對百二十一票をもつて可決した

緑地地域を指定
都市の過大を防止
市街地計畫委員會開く

半島國土計畫設定の見地から都市計畫の樹立について檢討を加へつつあつた總督府は國防的に保健衞生、國土防衞、國土の合理利用開發、過大都市分散になる禁繁防止等の角度から新に京仁（緊砂地區）仁川、水原、釜山、三千浦、統營、平壤、定州、寶川、江界、會寧の都市に市街地計畫を追加、指定、多獅島（龍岩浦地區）にも公園、緑地地域設定を指定することとなり、十二日第六回朝鮮市街地計畫委員會を午前九時から總督府に開催した

英、上陸用舟艇集結

【ストツクホルム十一日同盟】アフトレブラベツト紙の報ずるところによればドイツ海軍省のスポークスマン、ルニツオウ少將は十日次の通り言明したといはれる
空中偵察によればイギリス海峽の港灣には目下多數の上陸用舟艇が集結してゐる、しかしこれは從來屢次報ぜられたところで戰鬪が目睫の間に迫つてゐるわけではない

印度總督にウツドか

【ストツクホルム十一日同盟】勞働黨と保守黨の對立は今やイギリスの重大なる國内問題にまで進展しこれを繞つて過般來、イギリス内閣改造の風評が傳へられるがストツクホルムで發行の『ソシアール・デモクラトン』紙ロンドン特派員が十一日報道するところによれば首相チヤーチルはいよく近く改造斷行に乘出すことになつたと傳へられる、目下の下馬評では勞働黨出身の内相モリソンが現藏相ウツドの後を襲ひウツドはリンリスゴーの後任として印度總督に任命されるものと見られる

英八七四機喪失

【リスボン十一日同盟】ロンドン來電＝英國空軍省は一日今年初頭から六月はじめにいたる期間に獨伊兩國空襲において英空軍が喪失した飛行機の一部を八百七十四機と發表した

獨機第五次
ゴ市猛爆

【ベルリン十一日同盟】獨軍司令部は獨空軍爆撃機の大編隊が、十日夜ソ聯工業都市ゴーリキー市に對し第五次の大爆撃を敢行した旨發表したが、右に關し獨軍筋は十一日次の如く言明した
十日夜の空襲は主としてモロトフ自動車工場に集中され、同工場の全面積六十萬平方メートルのうち四十萬平方メートルの地域はすでに焦土と化した、偵察機が持ち歸つた記錄寫眞によれば、同市の大合成ゴム工場に大火災を起してをり同地域の四方の建物は完全に破壞されてゐる

航空局第二部長に服部少將

【東京電話】航空局第二部長仁村陸軍少將の轉出に伴ふ後任は服部武士陸軍少將に決定、二日左の如く發令された
陸軍少將　服部武士
任航空局部長（二）
航空局第二部長を命ず

皇帝陛下御臨

巣立つ興亞の使徒

滿洲建國大學初の卒業式

【新京特電】建國精神を無窮に護持する人材を養成のため滿洲建國大學は康徳四年七月十五日當時關東軍參謀長たりし東條首相が委員長となり總務長官たりし星野內閣書記官長が副委員長、委員には日本側西晋一郎、作田莊一、平泉澄の諸氏、辻權作陸軍少將、滿洲國側井上大同學院長、佐藤總務、宇田京大學長、朝鮮より稻葉君山博士等斯界の權威者が參加し三日間新京において建國大學創設委員會を開催、創設要綱及び建國大學令案を議決し八月五日勅令を以て大學令が公布され康徳五年五月二日詔書の佳辰をトし國都の南郊歡喜嶺の聖域に開學及び入學の式典を擧行し開學に當っては滿洲國皇帝陛下特に興學育才の開學勅書を下し給ひ大學の期ふところを諭し給うたのである、爾來茲に六星霜大東亞を興す五族の學徒一千名のうち第一回に巣立つ光榮の學徒百五名の晴れの卒業式は皇帝陛下の御臨御を仰ぎ六月十二日午前九時より嚴かに執り行はれた

この日總長張國務總理大臣、副總長尾高龜藏中將以下職員、學生、來賓、關東軍參謀長、武部總務長官、各部大臣、橋本祭祀府總裁、三宅協和會中央本部長、各學校長、卒業生父兄等本館玄關前に整列奉迎のうちを皇帝陛下には熙宮內府大臣以下扈從者を隨へさせられて御到着、張總長、尾高副總長、作田名譽教授等に謁見を賜ひ終って便殿において宮內官、總務長官侍立のうへ張總長より大學の狀況を御聽取ののち式場に成らせられ三浦少校の指揮する建大一千の健兒の勇壯なる分列式、グライダー飛翔、武道場における劍道、柔道、銃劍道、合氣武道等を御熱心に御覽、それより尾高副總長の恭導にて御前講演場に成らせられ經濟學科卒業生大瀬楢太郎君（茨城縣水戶中學出身）の『特殊會社制度の創設とその任務について』政治學科卒業生隋永謨君（大連市出身、協和實業學校卒業）の『大東亞共榮圏における各民族相互の結合と民族協和について』と題する講演をいと御熱心に御聽取あらせらる、終って尾高副總長の恭導にて前期…に成らせられ…狀況を御覽のゝち一旦便殿に御還御休憩の後、張總長の恭導にて卒業式場『養正堂』に成らせられ、各職員、來賓、父兄感激のうちに御座につかせらる、このとき、張總長御前に參進、卒業式開式の旨を奏上張總長總長席に就き熊谷事務官より卒業生の氏名が讀みあげられ總代に卒業證書を授與し總長恭しく式終了の旨を言上、それより陛下には便殿に御還御あらせられ、こゝに建大晴れの第一回卒業式は極めて嚴肅裡に終了した、なほ卒業生はさらに大同學院にて政府首腦者たるの教育をうけたのち第一線に立って大東亞建設の理想實現に乘り出すこととなるが卒業式を前に不幸病にたふれた津田五百里君も遺骨となって學友の胸に抱かれ晴れの式場に臨み卒業證書を授けられたがこの情景は參列者一同の胸を強くうった

張總長謹話

謹みて按ずるに康徳五年五月二日訪日宣詔の佳辰をトし我が建國大學の開學式擧行せらるるや允文允武

皇帝陛下に於かせられては畏くも特に本學に明勅を下し賜ひ本學を以て帝國最高の學府たり、政教の淵源文化の精粹經天緯地の學、修齊治平の道此に教へ此に學び出…協和會の出功を闡揚し…振興せむことを垂訓し給はったのである、爾來本學の教職員および學生は一意聖慮を奉じ夙夜勉勵其の實得具現を期しつゝ早くも六年を經過して茲に第一回の卒業式を擧ぐることと相成った、然る處畏くも皇帝陛下に於かせられては國務御多端の折柄にも拘らせ給はず特に御車を本學に進めさせ給ひ、親しく卒業證書授與式に御臨あらせらるる旨仰せ出された、重ね重ねの此光榮は獨り本學至上の榮譽たるのみならず我が國文教界最上の榮譽と存ずるものである

今や建國の洪謨成りて十星霜、國本奠定せられて國礎搖ぎなく文運愈々興らんとし、實に聖代の盛事と申すべきである、然しながら世局の推移は逆睹を許さず、邦家の前途は愈々多端である、本學職員學生就中卒業生一同は特に此光榮を肝銘し深く本學の重大使命に思ひを致し獨粥盡力鴻業を翼賛し帝恩を安んじ奉らんことを期せねばならぬと信ずる次第である

半島の豊穰を祈る

朝鮮神宮御田植祭

聖戰下半島の豊穰を祈念し朝鮮神宮御神田の御田植ゑが始められる、奉耕に先立ち、十二日午前九時から神宮大前で野村京農校長、堀教諭以下本年度の奉耕手培林中學金子高備君、京工、普成、職業、城南、普成、徽文、養正、中央、京農生等十七名〃早乙女〃に奉仕する第二高女玉田登子さん他、淑明、女子實業、培花、熊谷各高女生十名が參列『神前奉告祭』を執行、神樂歌を奏する中を竹島權宮司以下參進して修祓、祝詞奏上全員最敬禮の中に勤勞と聖なる奉耕への誓ひを固めて奉拜殿へ退下、額賀宮司臨場の下に『賞狀授與式』を執行、奉耕手及び早乙女を命ずの賞狀を全員元氣に奉戴し額賀宮司は『今日の感激を一生忘れずに半島の一歩前進に役立つ樣努められたい』と訓話あり野村校長の挨拶を以て式を閉ぢ直ちにバスで京城農學校內の御神田にいたり午後二時から古式に則る御田植裝束に身を固め『御田植祭』執行、決戰下に相應しい嚴かな行事を終へた【寫眞＝朝鮮神宮御田植奉告祭】

新らしき朝鮮確立へ 更に必要な緊褌一番

小磯總督、記者團に語る

〃やあ諸君、相變らず元氣だったかね〃

決戰下の帝都に滯在すること三週間餘、多忙な日程を終へて十日歸任した小磯總督は總督府記者團との定例會見を繰下げて十二日午前十時過ぎ第三會議室に臨んだ、一ケ月ぶりに接した白堊殿の主われ等の親爺は例によって背柱を反らせてゐるし、心もち豐かになったかと思はれる双頰など旅疲れの氣配は微塵もないばかりかますます元氣橫溢、いつものやうに朝日をくゆらせつゝ

『言ふべきことは殆んど言ひ盡したので土產話といっても別にない、甚だ失禮だが詳しくは新聞をみて呉れ給へ』

かしを喰はせる遣り着任當初の總督ぶりにそつくり

〃遺憾ながら朝鮮の食糧事情の逼迫さ加減は內地に餘り知られてゐないやうだ、極く一部の關係者は熟知してゐるんだがね〃

總督はこゝでちよっと形を正して付け加へる

穀倉朝鮮といふ名稱を用ひるなと献言してくれた人があった、穀倉朝鮮などゝいふと朝鮮の農民はツイ意を安んじて努力を惜しむやうになるだらうといふのだ、然し僕はさう思はない、穀倉といふ誇りとこの名を恥かしめまいこの不退轉の決意から益々半島農民が努力邁進してゐる事實を知らない者の言だ、總じて朝鮮の實情は內地に知られてゐない憾みがあった、內務省の記者團然り、他の各界層も同然、とかく總じ來つて思ふに我々の努力が不足してゐるんだね、皇國の強力なる一翼たる朝鮮を知らしめるべく諸君も大いに努力して貰ひたい

一氣にこゝまで話して來た總督の言葉は更に續けられる

內地では朝鮮の人的價値、物的資質を知らない、半島人が大和民族に連なることは神代の御治蹟を通じて確信し得る、然るにその傳統が保持してをるべき民族的道義が頽廢して今日に至ったのだ、現在の半島人は內地人に比して頭腦も資質も劣るものでたるもの少なしとしない、若しそれ大和民族同樣の道義を堅持し反省自覺するならば朝鮮は皇國日本の最も強力なる一翼として八紘爲宇の國家使命遂行上斷然として最先頭に立ち得る可能性があるわけだ、この點の認識が足りない、これは內地人はもとより半島二千五百萬同胞も知らない、この事實を內地人が知り二千五百萬が自覺反省するならば眞の內鮮一體は見事に結實するものと思ふ、にも拘らず惜しみがあったり、有り得べからざる反感が若しあるとするならば認識不足も甚しいと云はざるを得ない、物的資源は喋々を要せぬ、例へば半島の處女地江原道などど開發研究するならばどれほどの偉力を發揮するか想像も出來ないほどだ、食糧、地下資源、產業立地條件などの發展的將來といふことについての內地の認識は非常に足りない、そして我々も新しき朝鮮の實力を知らしむべく宣傳啓蒙の努力で足りないことを痛感した〃

新しき朝鮮、皇國日本の最先頭を步むべき有力なる資質を具備してゐる新しき朝鮮――この朝鮮の實體を內地が周知してゐないばかりか半島二千五百萬さへ自覺反省してゐないのだ、如何にして知らせるべきか――着任以來初めて長期に亘り任地を離れた總督は、大東亞共榮圏內に光彩燦たる新しき朝鮮の實力を再確認して來たのだ、新しき朝鮮、前進する朝鮮――この朝鮮を內地に、半島二千五百萬に知らせるのだ、その遠祖を大和民族に連ねた朝鮮に起死回生の新風を吹き込むことこそは直ちに以て道義朝鮮の確立、國體本義の透徹を絶叫し續ける小磯總督の大信念を更に更に強固不拔のものたらしめたに違ひない

〃新しい朝鮮の實力資質をもっと廣く深く知らせるべく我々も一つ大いに努力しようぢやないですか、眼からも耳からも即物教育からもいろんな手段方法があるだらう、我々の努力はまだ足らなかったと思ふのだ〃

幾本かの朝日を灰皿に突き込んだ總督は滿々たる大望を擁った壯年にも似た熱情的な瞳をカッと見開いたのだった【寫眞＝記者團に語る小磯總督】

小麥粉特配

愛國班を通じて家庭へ

配給所へ小麥粉の家庭用特別配給といふ朗報――京畿道では從來は麵類用や製パン用として各業者にのみ配給してゐた小麥粉を、こんど非農家の家庭に配給、當分の間は主食糧と切離し愛國班を通じて來る廿日頃から百匁十七錢の安價で配給を開始する、京城府內では一戶四人家での世帶には百匁を、また同じく五人以上十人までの家庭には二百匁づつ配給するといふ親心だが、同小麥粉は一袋六貫目の大袋で京畿道總量は九千五百廿袋その中京城府割當數約六千七百六十五袋、仁川府千五十五袋、開城府四百四十五袋、各郡合計が千二百五十袋で一ケ月の平均配給數量は四十袋であるが、今後とも數ケ月に一回づつこの待望の特配が各家庭へ行はれる

常在戰場

烈日の下薙刀を打ち振る乙女部隊、光り流るゝ絲の風を截る一閃に銃後女性の鬪志は淸冽に研ぐ、山本元帥の大いなる戰死こそ、銃後女性をいよいよ起たしめた、敵米英に悲憤の淚を決した彼女達は擧って誓った、我等元帥の雄々き精神を繼ぎ以て復仇の誠を效さんと――こゝ朝鮮神宮近くに勤む彼女達は元帥戰死の報に泣き怒った日『薙刀訓練』を申出た、會社でもその烈意を歡び、週二回火曜日の朝一時間と金曜日の午後四時から六時までの二時間をもって尚武日本の女性たるの猛練成を開始したのだこの尚武の鬪魂こそ〃常在戰場〃の至大觀念に繋がる基礎錬成であり勤務時にはじく算盤の響、打つタイプの一字にも山本精神生き給ふの念願に結び起つ職域女性の純潔熾烈なる實踐なのだ、おゝ崇高熾烈たる至念に燃ゆるその頰の汗美さよ、汗は玉と散る【寫眞＝朝運の薙刀訓練】

聖戰へ學徒動員

〃何時でもお役〃の技術習得

【東京電話】文部省では豫てより生產擴充に對應する廣汎な學徒動員計畫を樹立すべく陸、海、厚生各省、企畫院など關係各官廳と連絡協議中であったが、さらに目下開催中の官公私立大學長會議においてその參考意見を聽取した、その結果各學長とともに全學園を擧げて文部省案に賛成しその實施を待望してゐることが明かとなった、當局としては各學長の意見も參酌し具體案を練ってこゝ數日中にこれが成案を正式決定することとなった、今次學徒動員計畫の目標は國防訓練を全面的に擴大強化し實學教育の徹底を圖らんとするもので

一、理工科關係の學徒には基礎的國防訓練はもちろん航空、機工自動車など高度の訓練を施す一方たとへ在學中に應召しても直ちに當該技術を活用し得るごとき技術的練磨を行ひまた生產擴充のためには相當長期間重要工場に一校擧げて移駐せしめ直接生產增強に役立つとともにその作業實習せしめる

一、醫療關係の學徒は務めて學科を簡素化し實習に重點を置く

一、法文科學生に關してはこれら學徒をして生產擴充、食糧增產などの勤勞方面に動員するはもちろん國家の必要の際には直ちに國防上の要請に應へる緻密周到な計畫を樹立する

一、高校生徒に關しては大學との連絡方法を再檢討する

ことなどが擧げられる

鬪ふ美術を觀賞

小磯總督〃鮮展へ〃

すがすがしい初夏の溢れる場內で〃ウ、ウ、さうかね…〃と、小磯總督は加藤小林人事伯の説明にうなづいてゐた、十二日午前八時廿分の朝の寸暇をさいて國民服に戰鬪帽、籐のステツキといふ輕裝の總督は夫人を同伴、大野學務局長、小林秘書官を伴ひ〃鮮展〃にヒヨツコリ姿を現したのだ

◇

休憩室で少憩ののち竹內鮮展課長の案內で第一部の東洋畫から鑑賞の目を光らせた、去る九日、一ケ月振りで歸任した總督は歸任直後にも拘らず戰ふ半島美術に深い關心を寄せて寸暇をさいての觀賞である

◇

第二部洋畫に移れば山田新一畫伯から説明をきゝ、一つ一つうなづいてゐた、續いて工藝、彫塑など一時間鑑賞、美術館をあとに午前九時卅分には白堊殿に姿を現した

忠魂に續かん

城東中から献納

府內城東公立中學校職員、生徒一同は各自の勤勞奉仕、消費節約によって醵出した二百圓に『山本元帥壯烈なる戰死、アッツ島守備隊山崎大佐以下二千勇士の玉碎に吾等、斷じて勝たずば止まずの覺悟を深めました』と烈々たる激情に燃えた一文を添へ十二日森田校長を代表として本社に送達、獻金方を寄託した

陸軍志願兵

晴れの入所

【大邱】朝鮮における陸軍特別志願制度の掉尾を飾る十八年度前期志願兵訓練所入所生〇〇名は十四日午前九時半大邱驛發列車で出發入所の壯途に上ることとなった

◇『後三國志』原稿未着に付き本日休載

けふの市況（十二日）

株式 保合 新味なし

前場 休日控へ旁々新規材料待ちに場內引締いて見送られ諸株とも殆ど保合、新味に乏しい、なほ短期は高周波四十七圓六十錢と軟調、岩村六十二圓搦みに小堅く、小林七十七圓九十錢と六十錢方引締め、新鐘七十一圓七十錢と五十錢方引返し、その他は日本マグネ五十五圓八十錢、朝鮮製錬卅圓五十錢、朝鮮機械七十七圓五十錢といづれも保合範圍の小高下を示した、後場例休

『實物』閑散

環境の不鮮明を反映して新規商內は手控へられて場面閑散、從って相場も保合ひ離脱困難の振合であった、主なる出來値左の如し

朝鮮製錬三六圓五—四▲龍工新三六圓三▲小林七七圓五—四—三▲京南四〇圓五▲日本マグネ五五圓七▲岩村六二圓〇▲昭電八六圓四—三▲朝水五九圓八

東洋工業漸騰 東洋工業は百三圓と前日より一圓方漸騰し

三菱電機堅調 三菱電機は復百六十三圓、同新八十一圓とた、當社は新會社を設立、經營增資見越しから一段の買氣を集めてゐる

小一圓方引締めた、格別材料はないが、當社の堅實性を買って來たが、値嵩が高いだけに商內は存外出來惱みの態であった

株式（十二日）

朝取短期（前場）

地株利廻表（秋田證券調査）

京日特選高段者勝拔戰

第十一回（は前局2四飛迄）

平手 先 八段 △齋藤銀次郎 七段 ▲宮松關三郎

各六時間 消費時間（△四、三〇分 ▲一、五〇分）

▲7五金 △5五歩 ▲同角15

▲5四飛 ▲8七歩 △同玉

△5二飛10 △5三歩 △同飛

△8四飛 △8三歩 ▲同飛ナル

木村名人講評 先手五五歩は手筋であったが、五四飛は惡い、單に九八玉と角筋を避ければ敵も攻めあぐむであらう。既に二四飛と絶好な攻撃態勢にある以上この飛の移動は如何にも惜しい、但し五四飛としてからは八四飛が至當である。

後手五五同角は妥當といへる、次で八七歩のたゝきで五二飛の交換強要も、この局勢としては必至である。